



笠縫東学区の健幸かるて（令和6年度版）



【令和6年12月作成】 草津市人とくらしのサポートセンター 地区担当保健師

1.人口構成(R6.4.30)

※市と比較して区分割合が高い項目に赤字着色

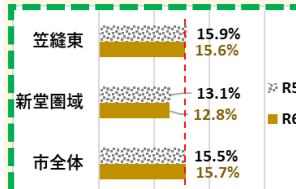
合計(年少／生産／高齢)		0～14歳		15～64歳		65歳以上		計(人数)
年齢区分	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
志津	2,485	17.5%	9,265	65.1%	2,486	17.5%	14,236	
志津南	1,333	20.0%	3,840	57.5%	1,502	22.5%	6,675	
草津	1,589	13.3%	7,583	63.7%	2,738	23.0%	11,910	
大路	1,513	12.7%	8,050	67.4%	2,388	20.0%	11,951	
矢倉	1,177	12.2%	6,174	64.1%	2,288	23.7%	9,639	
流川	1,317	13.7%	6,539	67.8%	1,784	18.5%	9,640	
老上西	1,461	16.8%	5,361	61.8%	1,851	21.3%	8,673	
老上	2,475	19.7%	7,998	63.8%	2,071	16.5%	12,544	
玉川	1,305	10.6%	8,644	70.2%	2,360	19.2%	12,309	
南笠東	747	9.7%	5,104	66.5%	1,821	23.7%	7,672	
山田	937	12.1%	4,439	57.1%	2,396	30.8%	7,772	
笠縫	1,570	14.0%	6,296	56.0%	3,371	30.0%	11,237	
笠縫東	1,624	14.9%	6,449	59.3%	2,806	25.8%	10,879	
常盤	648	13.3%	2,651	54.4%	1,571	32.3%	4,870	
草津市	20,181	14.4%	88,393	63.1%	31,433	22.5%	140,007	

【参考:65歳以上人口割合】笠縫東 25.8% / 草津市 22.4% (R5.4.30)

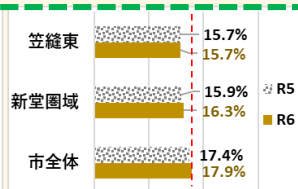
4.高齢者の状況

(※③は、40~64歳の第2号被保険者も含む)

①単身高齢者の割合(R6.4)



②介護認定率(R6.4)



③介護が必要となった原因で最も多い疾患(R1~R2新規申請者)

【要支援認定となった人】
脳梗塞 高血圧症

【要介護認定となった人】
消化器がん

④主観的健康観

健康状態が「とてもよい」「まあよい」と回答した人の割合
笠縫東:82.7%
草津市:80.2%

⑤主観的幸福感

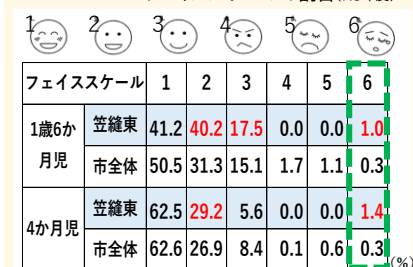
どの程度幸せかの平均(とても不幸 0点 ~ とても幸せ 10点)
笠縫東:6.9点
草津市:7.0点

6.地域資源(地区組織活動・社会資源等)

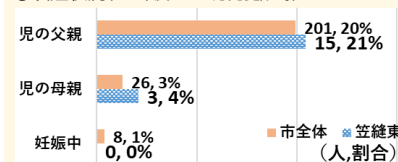
医療機関 医科:13か所・歯科:5か所	スーパー:1か所・コンビニ:4か所	地域サロン:9か所	健康推進員 14人
薬局:9か所・ドラッグストア:2か所	子育てサークル・拠点施設:6か所	町内会 16個	

2.妊娠・出産・子育て(乳幼児健診問診結果)

①育児に対する今の気持ちに近いフェイススケールの割合(R5年度)



②喫煙状況(R5年度:4か月児健診時)



③「育てにくさを感じているか」の割合(R5年度)

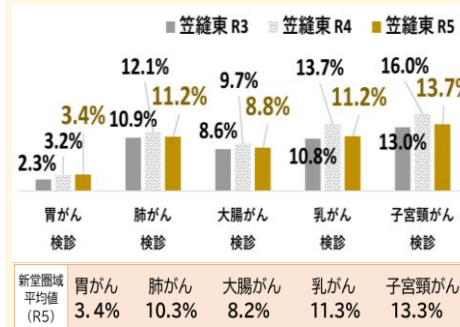


5.地域の声

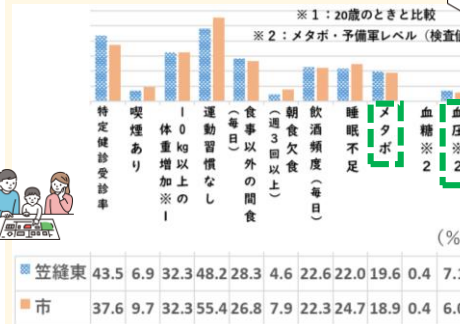
「健康診断も受けてない。忙しいし受ける時間もないな。」
「今回初めて参加し、子どもも楽しそうできてよかったです。」(子育てサロン)
「まちづくりセンターまではバスを利用しています。帰りは運動のために歩いて帰ります。」

3.からだの健康・生活習慣

①市が実施しているがん検診の受診率推移(R3~5年度)



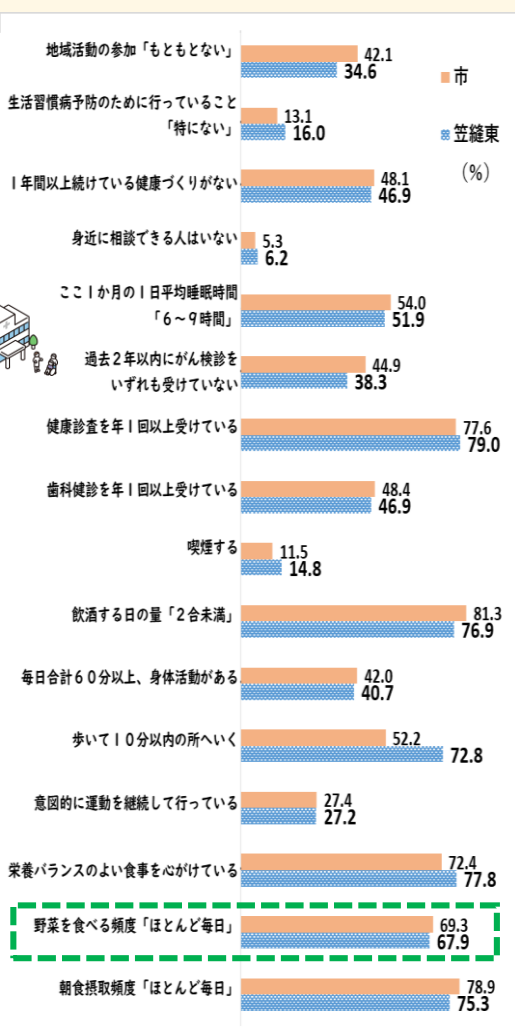
②特定健診受診率・問診・検査結果(R5年度)



～地域の取組・活動の様子～



③生活習慣
健康に関するアンケート調査結果:対象18~74歳(R4年度)



<地域の目指す1年後の姿(目標)> 笠縫東学区の住民が、健康寿命を延ばすために生活習慣を見直し、自分に合った健康づくりに取り組むことができる

<地域の特性と健康課題>

- 元々の地域と新興住宅地が入り混じったエリアで、高齢化率は市内で4番目に高くなっています。
- けん診の受診率が草津市と比較して高い状況となっています。
- 2人以上の高齢者世帯数は市内で2番目に多く、ひとり暮らし高齢者世帯数も多く、介護認定率は市内で2番目に低くなっています。
- 核家族化により近隣に頼れる人がなく、子育てをする家庭もあります。育児に対する気持ちのフェイススケールではスケール6を選択される人が市全体の割合より多い状況です。一方で子育てサークルの充実や民生委員児童委員の訪問もありスケール2を選択される人の割合も市全体より多い状況です。

<健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況>

- 学区住民の生活習慣(食生活や運動習慣、喫煙状況等)の把握を進め、あらゆる世代の人が自身の健康に関心を持ち、よりよい生活習慣をもてるよう、商業施設での健康測定会や地域活動の場での啓発を行っていきます。
- 孤立する高齢者や子育て世代が少なくなるよう、地域で行われているサロンや赤ちゃん訪問の情報把握を進め、必要とする人に情報提供を行っていきます。